

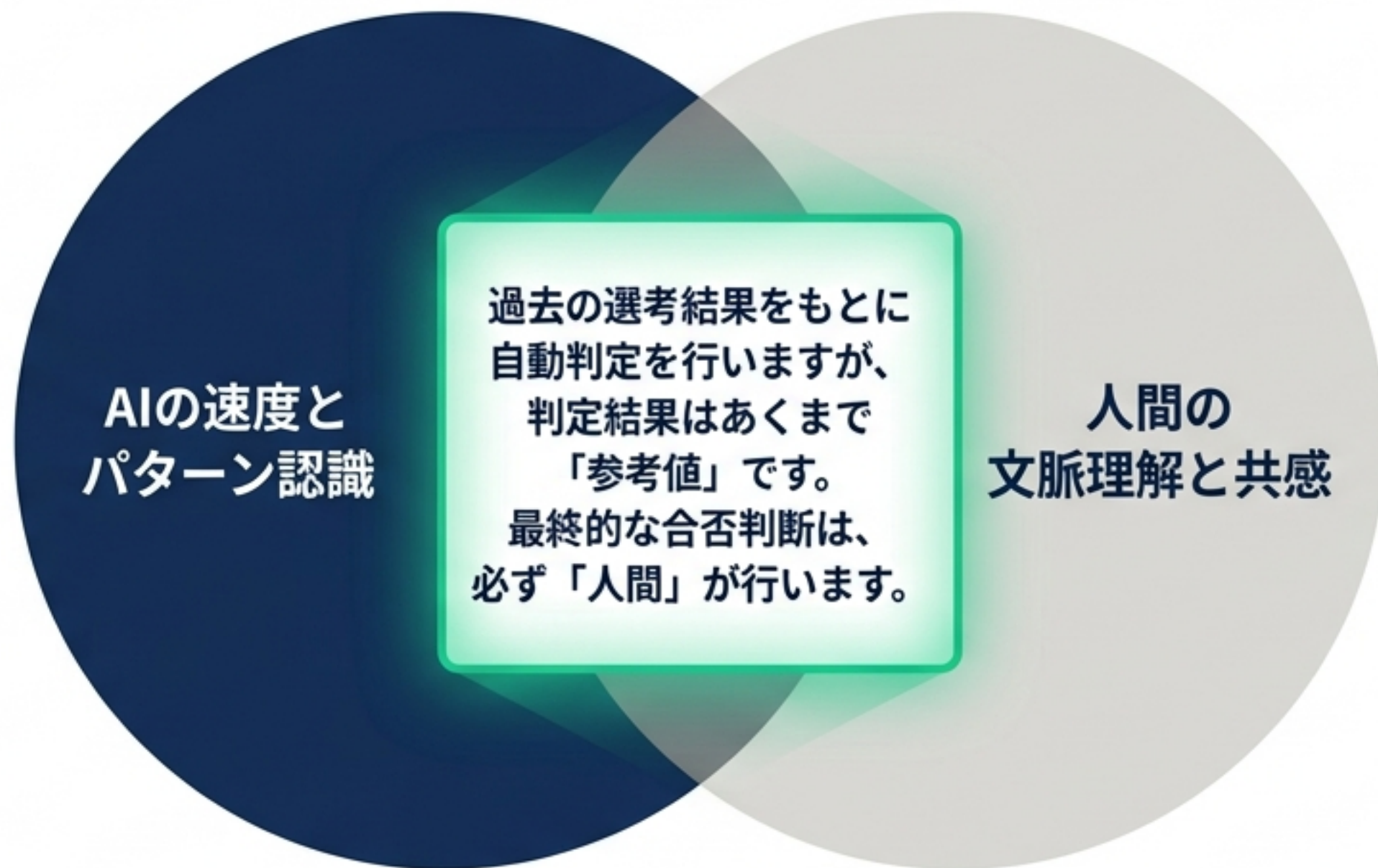


ES Screener 導入・運用プレイブック

次世代の採用を支える、AIと人間の協働プロセス

Version 1.0 | 2026-04-23

AIは「選考」をしない。「スクリーニングの高度な参考値」を提示する。



人事担当者の初期スクリーニング工数を大幅に削減し、有望な候補者との深い対話に時間を投資するためのツールです。



管理者

人事部門の管理担当者

- ✓ LLM設定
- ✓ モデル学習・管理
- ✓ ESフィルタリング
- ✓ ヘルプ

ユーザー名: admin | パスワード: admin123



一般ユーザー

採用担当者

- ✓ ESフィルタリング
- ✓ ヘルプ

ユーザー名: user | パスワード: admin123

⚠ 初回ログイン後、本番運用時は必ずパスワードを変更してください。

Augmented Recruiter Dashboard

Setup Phase (管理者のみ)

Operation Phase (全ユーザー)

年度やポジションごとに複数のモデルを作成・切り替え可能。





LLM設定
(AIエンジンの接続)

モデル学習
(過去の合否データから基準を作成)

ESフィルタリング
(新規ESのアップロードと解析)

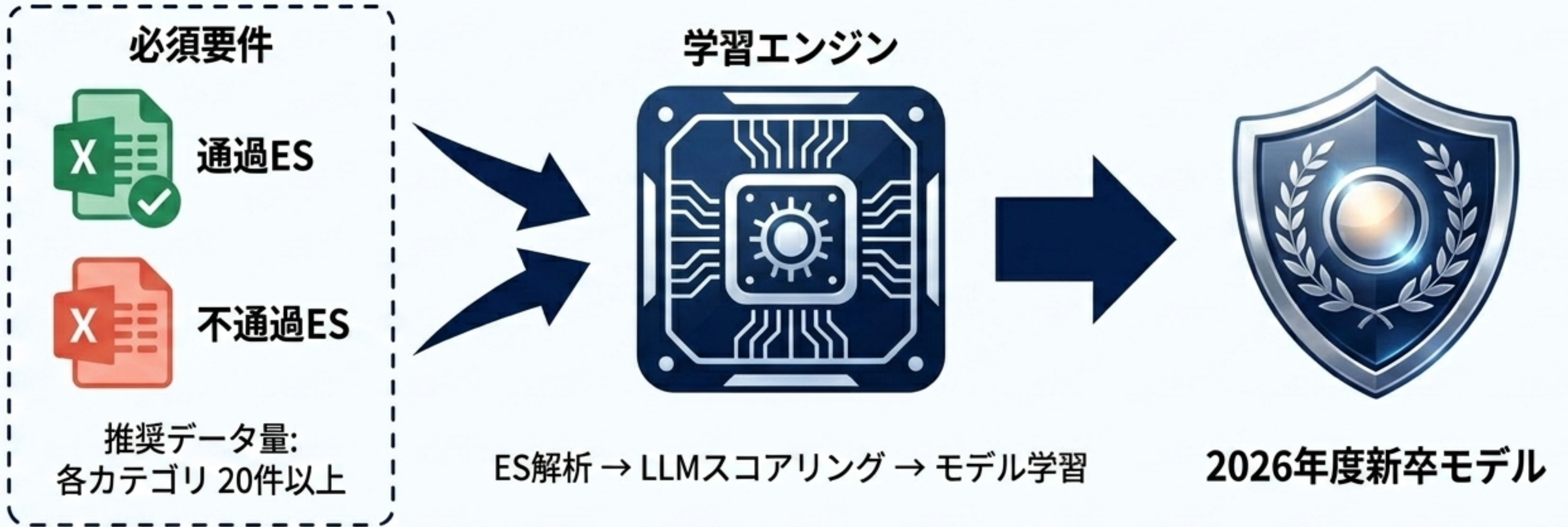
人間による最終判断
(Go/No Goの確認)

手順①：自社のセキュリティ基準に合わせたLLM（AIエンジン）の選択

	OpenAI	用途: 標準利用（推奨）	モデル例: gpt-4o-mini 必須情報: APIキー
	Anthropic	用途: 長文・日本語品質重視	モデル例: claude-sonnet-4-6 必須情報: APIキー
	Azure OpenAI	用途: データ所在地制約がある場合	必須情報: APIキー、エンドポイントURL、 デプロイメント名
	Local LLM	用途: 完全オフライン・無料運用	必須情報: ベースURL (例: http://localhost:11434/v1)

i Admin Tip: Temperature (0.0)、タイムアウト (30秒)、リトライ回数 (3回) は原則変更不要です。
「接続テスト」で成功を確認してから保存してください。

手順②：過去の合否データから「採用基準」をAIに学習させる



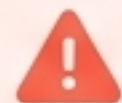
i 学習時間の目安: ES 1件あたり約30秒 (20件で約10分)。

! LLM設定が未完了の場合、エラーとなり学習を実行できません。

日常運用：ESファイルのアップロード要件



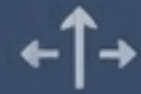
- ✔ ファイル形式: Excel (.xlsx) のみ。
- ✔ シート名: 「本選考ESひな形」と命名（見つからない場合は自動的に先頭シートを使用）。
- ✔ ファイルサイズ: 1 ファイルの最大サイズは 10MB まで。
- ✔ アップロード上限: 1 回の処理につき最大 100 件 まで同時実行可能。



エラーが出る場合は、ファイル形式が .xlsx 以外になっているか、Excelの内部構造が壊れている・所定のセル位置にデータがない可能性があります。

手順④⑤：ドラッグ&ドロップでフィルタリングを実行

1



ESフィルタリングタブを開き、対象ファイルを選択。



ここにドラッグ&ドロップするか、クリックしてファイルを選択してください。



2

フィルタリング実行

3

50%

進捗バー：ES解析 → LLMスコアリング → 推論

① 複数モデルを作成している場合、管理者が選択・有効化したモデル（「選択中」バッジ表示）が自動的に適用されます。

手順⑥：サマリーとGo/No Go判定の確認

合計件数

100

Go! 件数

65

通過の可能性が高い

No Go! 件数

35

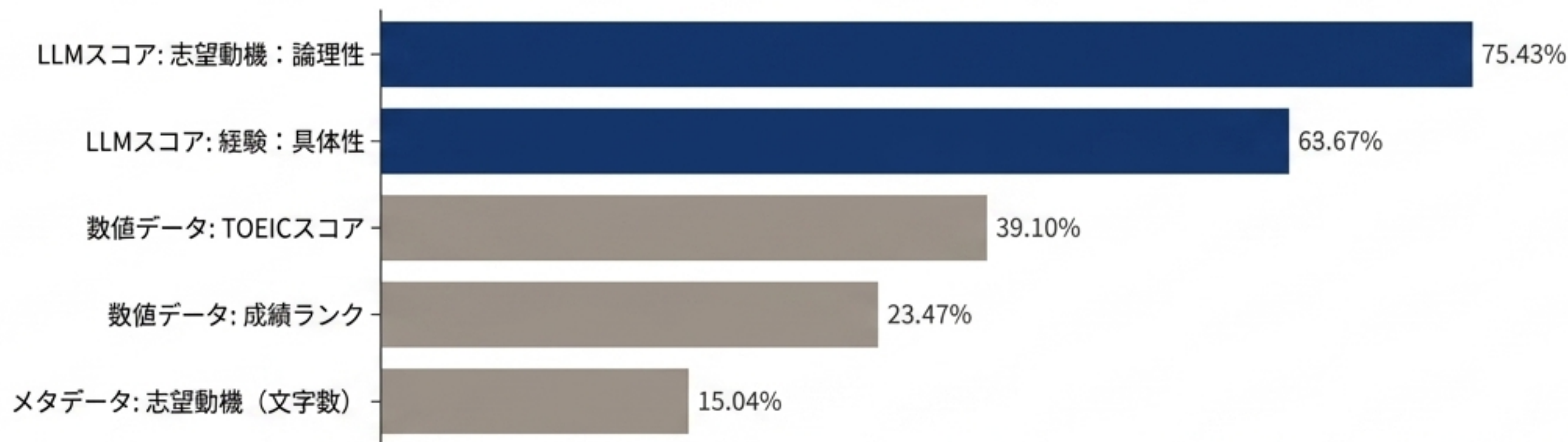
通過の可能性が低い

#	氏名	ファイル名	判定	Go確率
#1	山田 太郎	ES_山田太郎.xlsx	Go!	92%
#2	佐藤 花子	ES_佐藤花子.xlsx	No Go!	15%



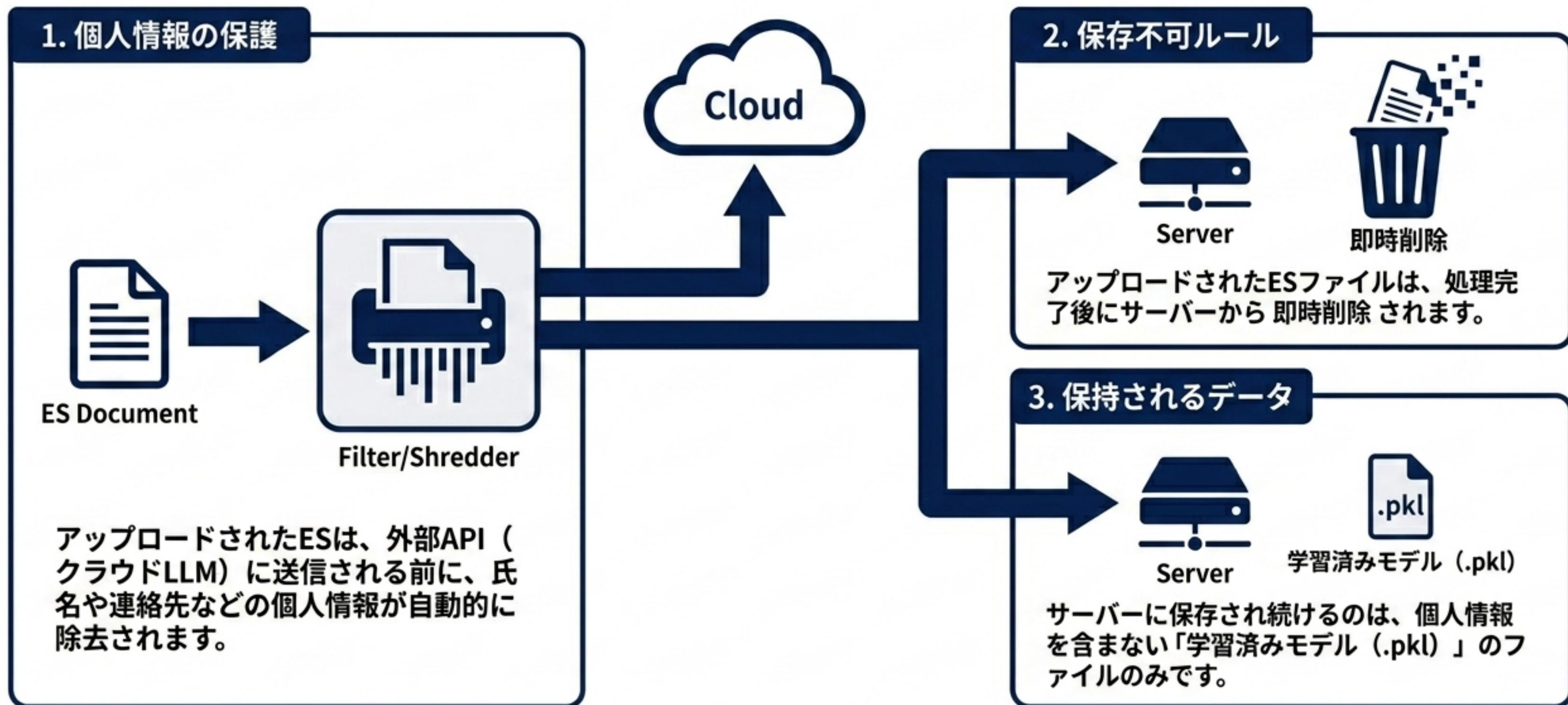
Go確率は「過去の通過者にどれだけ似ているか」を示す数値です。判定結果は一次スクリーニングの参考値とし、最終判断は必ず目視で行ってください。

AIの思考プロセス：何を基準に判定しているのか？



棒グラフが長い項目ほど、合否判定への影響力が大きいことを示します。もし「文字数」系の特徴量だけが極端に高い場合、教師データ（過去の合否基準）の質が低い可能性があるため、データの見直しを推奨します。

セキュリティとデータ保護の仕組み



システムの最適化と運用ルールの徹底



LLMキャッシュ管理 (コスト削減の仕組み)



同一テキスト・同一モデルの再評価は自動省略され、コスト削減と高速化を実現します。スコアリング結果に違和感がある、またはキャッシュが肥大化した場合は「LLM設定」から手動でキャッシュクリアが可能です。



LLMとモデルの整合性 (運用上の厳格なルール)

モデル学習時と推論（フィルタリング）時には、必ず同じLLMプロバイダー・モデルを使用してください。異なるLLMを使用すると警告が出ます。LLMを変更した場合は、必ずモデルの再学習を行ってください。

トラブルシューティング・クイックリファレンス

症状	原因	対処法
 「LLMが設定されていません」	LLM設定が未完了	【管理者】LLM設定タブでAPIキーを登録する。
 「モデルが選択されていません」	使用モデルが未選択	【管理者】モデル一覧のラジオボタンでモデルを選択する。
 特徴量重要度がすべてゼロ	教師データが少なすぎる	各カテゴリ20件以上のデータを用意し、再学習を実行する。
 学習時と現在のLLMが異なります	LLM設定が変更された	元のLLM設定に戻すか、現在のLLMで再学習を行う。
 ESファイルの解析に失敗	ファイル形式/構造エラー	.xlsx形式で、指定の「本選考ESひな形」フォーマットか確認する。